

蜀素帖の臨書スタイル

山内 観 の場合

- 昭和三年（一九二八） 丹波の寒村に生まれる（本名：肇）
 京都師範入学
 昭和十七年（一九四二） 十四歳
 昭和二十二年（一九四七） 十九歳
 昭和二十五年（一九五〇） 二十二歳
 大河内晃東・安達嶽南・古谷蒼韻らとともに水旺会を結成して研究会をもつ
 京都学芸大学編入学
 同 卒業
 辻本史邑に師事
 昭和二十六年（一九五一） 二十三歳
 昭和二十八年（一九五三） 二十五歳
 昭和二十九年（一九五四） 二十六歳
 昭和三十年（一九五五） 二十七歳
 昭和三十一年（一九五七） 二十九歳
 昭和三十三年（一九五八） 三十歳
 昭和三十六年（一九六一） 三十三歳
 現創会創設に参加
 昭和三十九年（一九六四） 三十六歳
 日本書芸院賞（関西総合美術展）受賞
 昭和四十二年（一九六七） 三十七歳
 古谷蒼韻・中島皓象などととも村上三島に師事
 京都商工会議所会頭賞（京展）受賞
 毎日書道展グランプリ受賞
 メルボルンクラナギャラリーにて個展
 日展特選「苞竹賞」受賞
 京都教育大学助教となる
 昭和四十五年（一九七〇） 四十二歳
 日展特選受賞
 昭和四十七年（一九七二） 四十四歳
 ワシントン大学客員教授となる
 昭和四十九年（一九七四） 四十六歳
 昭和五十一年（一九七六） 四十八歳

日展出品依頼となる

ワシントン大学 ヘンリー美術館にて個展

カナダ ビクトリアギャラリーにて個展

京都教育大学教授となる

日展新審査員就任

日展会員となる

日展審査員就任

京都・高島屋 美術画廊にて個展

京都教育大学定年退官

日展会員賞受賞

京都教育大学名誉教授となる

日展審査員就任

一月四日逝去（雲祥院親山道徹居士）

平成八年（一九九六） 六十七歳

平成七年（一九九五） 六十七歳

平成三年（一九九二） 六十三歳

平成二年（一九九〇） 六十二歳

平成元年（一九八九） 六十一歳

昭和五十九年（一九八四） 五十六歳

昭和五十八年（一九八三） 五十五歳

昭和五十二年（一九七七） 四十九歳

形大地：惟東吳偏山水，古佳處
中有皎人，瓊衣玉為鉞，位雖
列仙長，學與千年對，出採文，福
壽迨，願招類金甌，帶秋威
欵逐雲樁，玉朝隣，與馭馳
暮返光浮被，雲自有風駐
塘養有刀利，亭，太陰宮無

昭和六十年 臨蜀素帖 山内 觀

山水有佳處中有幽人棲
玉為師住列仙長與去
與今年軍出徐公得處
道能招類全亂帶秋威
秋逐雲隨玉紅階興
動臨管道先浮結
玉
字者社端
卷有刀利
書太陳
原

臨蜀素帖
卷一
宋 陳思

家出孫乞得處

備玉紅階興起

蟾隨長有刃利

對出抹文獨

朝階興起

山水方佳處

山水佳處

山水佳處

山水佳處

水

水

山水佳處